

平成19年度

事業報告

自 平成19年4月 1日

至 平成20年3月31日

財団法人 黒住医学研究振興財団

I. 研究助成事業

財団寄付行為第4条第1号に規定される研究助成事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究に対して助成するものである。

研究助成の対象は、医学関連の大学、教育機関、研究所、及び医療機関等において、当該事業の目的に従事している者から申請を募り、申請者を各専門分野の審査委員が採点した後、選考委員会で慎重に審議して研究助成の対象者を決定するものである。

当該事業は、平成5年度から開始しており、今年度は第15回目に当たり申請数は155件であり、研究助成は13件（13名）に贈呈することとした。

なお、贈呈式は平成19年10月19日東京會館にて行なわれた。

対象者の氏名、研究課題は次のとおりである。（敬称略）

「平成19年度 研究助成の受贈者」

- いとう たくや
1. **伊藤 琢也**
(所属機関) 日本大学 生物資源科学部 専任講師 農学博士
(研究課題) 「野生動物狂犬病のアクティブサーベイランスを目指した迅速鑑別診断法の開発」

おおまつ つとむ

 2. **大松 勉**
(所属機関) 国立感染症研究所 ウイルス第一部 研究員 獣医学博士
(研究課題) 「ベネズエラ馬脳炎ウイルス・東部馬脳炎ウイルス・西部馬脳炎ウイルスのLAMP法およびELISAを用いた迅速鑑別診断法の確立」

きくち じろう

 3. **菊池 次郎**
(所属機関) 自治医科大学 分子病態治療研究センター 幹細胞制御研究部 助教 医学博士
(研究課題) 「新規高脂血症原因遺伝子PCSK9の血中LDL濃度調節機構の解明と冠動脈疾患早期診断への応用」

くぼ はじめ

 4. **久保 肇**
(所属機関) 京都大学大学院 医学研究科 講師 医学博士
(研究課題) 「悪性中皮腫の患者血清中のpodoplanin(ポドプラニン)タンパク質を同定するELISAキットの開発」

こじま ひろし

 5. **小島 寛**
(所属機関) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 准教授 医学博士
(研究課題) 「同種造血幹細胞移植後急性GVHDの客観的診断マーカーとしての血中可溶性CD226測定意義の検討」

さくらい よしひこ

 6. **櫻井 嘉彦**
(所属機関) 奈良県立医科大学 小児科 助教 医学博士
(研究課題) 「第Ⅷ因子被覆ビーズを用いた新規抗第Ⅷ因子抗体測定法の開発」

たけうち たもつ

 7. **竹内 保**
(所属機関) 高知大学 医学部 病理学教室 准教授 医学博士
(研究課題) 「骨髓組織標本を用いた多発性骨髓腫瘍薬剤耐性の評価－Notch systemに焦点をあてて」

ところ まさはる

8. 所 正治

(所属機関) 金沢大学大学院 医学系研究科 寄生虫感染症制御学 講師 医学博士
(研究課題) 「変性濃度勾配ゲル電気泳動法を用いた腸管寄生原虫の網羅的検出・同定法の開発」

なかにしとよふみ

9. 中西 豊文

(所属機関) 大阪医科大学 臨床検査医学教室 准教授 医学博士
(研究課題) 「転写膜上の膵臓癌由来抗原－自己抗体結合体中の膵臓癌特異抗原同定法の確立に関する研究」

にしはらひろし

10. 西原 広史

(所属機関) 北海道大学大学院 医学研究科 分子細胞病理 助教 医学博士
(研究課題) 「免疫染色を用いたシグナル伝達分子の発現パターンによる腫瘍のプロファイリング」

はやし しゅんじ

11. 林 俊治

(所属機関) 自治医科大学 医学部 感染免疫学講座 細菌学部門 講師 医学博士
(研究課題) 「ヒト小腸内の細菌フローラの解析」

ひがし のぶあき

12. 東 伸昭

(所属機関) 東京大学大学院 薬学系研究科 准教授 理学博士
(研究課題) 「プロセッシングにより多型を示すヘパラーゼの切断・結合活性の分析と診断への応用」

よこい さな

13. 横井 左奈

(所属機関) 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 助教 医学博士
(研究課題) 「肺小細胞癌に見出した新規増幅領域の標的遺伝子の診断マーカーとしての有用性の検討」

計 13名 研究助成金総額 1,070万円

II. 顕彰事業

財団の寄付行為第4条第2号および第3号に規定されている顕彰事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する優れた研究成果に対する顕彰で「小島三郎記念文化賞」と呼称し、他に臨床検査技師及び衛生検査技師等において優れた検査方法、術式の開発に成果を収めた者と当該分野における人材の育成に優れた成果を収めた者に対する顕彰で、これには「小島三郎記念技術賞」と「福見秀雄賞」があり、各賞とも毎年1回贈呈している。

①. 第43回小島三郎記念文化賞の贈呈

小島三郎記念文化賞は、主として病原微生物学、感染症及び公衆衛生学その他これに関連した領域において、学問的に顕著な業績で、しかもわが国の文化に貢献したと思われる研究に対して、贈呈するものである。

当該賞の候補対象者については、大学の衛生学、公衆衛生学、微生物学、寄生虫学、感染症学、病理学、免疫血清学の教授、各都道府県衛生研究所長、衛生部長等並びに関係機関の長から該当者の推薦を得た候補者について、推薦理由、研究歴、発表論文等を選考委員会が慎重に審査したうえで、優秀な業績のあった者に賞を決定するものである。

平成19年度における第43回小島三郎記念文化賞の候補対象者数4件のうちから1件を決定したもので、この贈呈者の氏名及び業績は次のとおりである。(敬称略)

なお、同賞の贈呈式は平成19年10月19日東京會館にて行なわれた。

(氏名) (所属機関)
まはら ふみひこ
馬原 文彦 馬原医院 院長 医学博士
業績の題目 「日本紅斑熱の発見と臨床的疫学的研究」

②. 第42回小島三郎記念技術賞の贈呈

小島三郎記念技術賞は、臨床並びに衛生検査領域において、すぐれた検査方法、術式の考案改良を行い、また、検査技術の普及発展に功績のあった技術者に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者等から該当者の推薦を得た候補者について、推薦理由、研究歴、並びに論文等を選考委員が慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

平成19年度の候補対象件数28件のうち5名を決定したものであり、贈呈式は平成19年5月11日、野口英世記念会館にて行なわれた。

贈呈者の氏名、所属は次のとおりである。(敬称略)

(氏名) (所属機関)
うめき かずみ
梅木 一美 (宮崎大学医学部附属病院 検査部 副臨床検査技師長)
業績の題目 「甲状腺ペルオキシダーゼ遺伝子異常の系統的解析法の開発」

おおはた まさひこ
大畑 雅彦 (静岡赤十字病院 検査部 第二課 課長)
業績の題目 「骨髓塗抹標本上の多発性骨髓腫細胞の形態像と細胞増殖マーカーからみた病態解析」

かたおか ひでお
片岡 秀夫 (彦根市立病院 臨床検査科 科長、京都大学医学部保健学科・京都保健衛生専門学校 非常勤講師)
業績の題目 「細胞診における免疫細胞化学、免疫電子顕微鏡法の確立」

たぐち ますみ
田口 真澄 (大阪府立公衆衛生研究所 感染症部 細菌課 主任研究員)
業績の題目 「腸管感染症の細菌学的研究とサーベイランスによる公衆衛生への貢献」

むらもと よしみ
村本 良三 (財団法人 心臓血管研究所附属病院 臨床検査部 副技師長)
業績の題目 「血清アルブミン測定法の問題点の究明と新規測定法の開発」

③. 第26回福見秀雄賞の贈呈

福見秀雄賞は、臨床検査、衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、かつ後進の指導育成に貢献した者に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者、福見秀雄賞受賞者等から該当者の推薦を得た候補者について、推薦理由、職歴、並びに論文等を選考委員が慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈するものである。

平成19年度の候補対象件数は9件のうち4名を決定したものであり、贈呈式は平成19年5月11日、野口英世記念会館にて行なわれた。

贈呈者の氏名所属は次のとおりである。(敬称略)

(氏名) (所属機関)
あさい まさき
浅井 正樹 (前 名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 部長 兼 臨床検査技師長)

あさやま ひとし
朝山 均 (前 市立岸和田市民病院 医療技術局理事 兼 中央検査部 技師長)

ふじさわ けいこ

藤澤 桂子（元 山口大学医療技術短期大学部 衛生技術学科 助教授）

むかい まさひこ

向井 正彦（前 神戸大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長）

Ⅲ. 公益法人制度改革への対応

公益法人制度の改正に伴う、新公益財団法人への認定取得のための準備作業として、平成19年度は全国公益法人協会並びに各証券会社主催の講習会に出席して制度改正内容及び新会計基準についての情報収集に努め、3月の理事会・評議員会で改正内容の概要を説明し、認定取得申請時期について平成21年10月を目標とすることで承認を得た。

以上